

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公開番号】特開 2013-222261 (P2013-222261A)
 【公開日】平成 25 年 10 月 28 日 (2013.10.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-059
 【出願番号】特願 2012-92198 (P2012-92198)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/407 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 5/00 1 0 0

H 0 4 N 1/40 1 0 1 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第 1 の階調数を有する画像データ (3 0 1) について、前記画像データにおける輝度の範囲を複数に区分して成る各区間ごとに、その区間内の輝度を有する画素の数を算出する区間画素数算出手段 (7) と、

前記区間内の輝度を有する前記画素の数に基づき、前記複数の区間から区間を選択する区間選択手段 (9) と、

前記区間選択手段により選択された区間内の輝度を有する前記画素の輝度を、前記第 1 の階調数よりも小さい第 2 の階調数において設定するとともに、前記区間選択手段により選択されなかった区間内の輝度を有する前記画素の輝度を最低値又は最高値とする階調設定手段 (11) と、

を備え、

前記区間選択手段は、前記区間内の輝度を有する前記画素の数の、全区間の画素数に対する比率が所定の閾値以上である区間を選択することを特徴とする画像処理装置 (1)。

【請求項 2】

前記区間選択手段は、前記比率が前記閾値以上である区間が存在しない場合、全ての区間を選択することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記区間画素数算出手段、前記区間選択手段、及び前記階調設定手段は、前記第 1 の階調数を有する画像データの一部について処理を行うことを特徴とする請求項 1 ~ 2 のいずれか 1 項記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 の階調数を有する画像データは、ダイナミックレンジ方式の画像データであることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の画像処理装置。